

■事故の概況

人と車参照



事故類型：出会い頭

発生日時：夕方

当事者A：普通乗用車 30歳代 女性

当事者B：普通乗用車 20歳代 男性

■ 事故の概要

Aは往復一車線道路を走行していると、前方にT字路交差点を発見しました。T字路交差点には一時停止の標識も停止線もありませんでしたが、Aは一時停止をして、小刻みに前へ出て交差する道路の左方向を確認し、右方向を確認しようと右を見た瞬間、右方から進行してきたB車と衝突しました。

Bは直線道路を時速約40kmで走行しています。前方左に交差する道路を発見したので、時速約20kmに減速をしました。その直後、交差道路から出ようとしているA車を発見したのでクラクションを鳴らして注意を促し、A車が停止したのを確認したので、加速して進出したところ、突然Aが飛び出して来たので衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Aは一時停止の後、左を確認してから右を見たと言っています。日本の場合、車両は道路の左側を通行するので右を見てから左を見る方が安全確認をする上で意味があります。左右の安全確認ができないまま発進したことが事故の原因です。

Bが鳴らしたクラクションをAは聞こえていなかったようです。クラクションを鳴らしたことに過度に頼りすぎるのは避けた方がいいでしょう。